

「公立大学法人和歌山県立医科大学と 連携した地域活性化に向けた取組み」



株式会社 紀陽銀行
営業推進本部 ピクシス営業部
談 儀 哲 也

紀陽銀行の基本姿勢

紀陽銀行が目指すものは地域密着型金融

「お客様から選ばれ続ける銀行」

- ・経営基盤の強化
- ・多様かつ高度な総合金融サービスのご提供
- ・**地域経済への貢献**

紀陽銀行 ピクシス営業部の概要

●ピクシス営業部

《目的》

地元企業を応援し地域経済を活性化していくこと

銀行独自のノウハウに加え外部の専門家(弁護士、税理士、M&A専門業者etc.)や公的機関(国、府県、政府関連機関)とのネットワーク活用により、お取引先企業様の成長支援や経営課題解決に取り組んでいる

ピクシスとはギリシャ語で「羅針盤」の意味

●ピクシス営業部の主な取り組み事項

1. 企業の出口戦略(オーナー企業の継承方法)

- ①株式公開準備支援 (公器化)
- ②M&A業務 (売買による経営者交代)
- ③事業承継 (オーナー近親者への承継)

2. 新規事業支援

④ビジネスマッチング業務

⑤海外進出、外国為替業務支援

3. その他の経営課題

⑥社債・シ・ローン等調達手段の多様化対応

⑦企業年金制度の見直し、導入

⑧デリバティブ活用

⑩ISO取得、Pマーク取得

⑪後継者育成、社員教育

(1) 和歌山県立医科大学との連携協定締結までの経緯

~H20

【地域活性化や企業の多様なニーズに応えるために、和歌山県内における高等教育機関等との連携強化を推進】

H17.7 国立大学法人 和歌山大学

H20.2 和歌山県

H20.3 国立高等専門学校機構 和歌山工業高等専門学校 等

H20. 10~

和医大の持つ**医療関係をはじめ、食品や観光分野に関する研究成果（シーズ）**と地元企業のニーズをマッチングさせるため、双方で「連携協定締結」を含むプロジェクトを検討開始。

H21. 3. 25

- ①和医大と当行との情報交換やプロジェクトの協働の円滑化を図るために「連携協定」を締結
- ②双方での検討の結果、和医大と企業とのマッチングのため、シーズ紹介と教授との意見交換を図る「異業種交流会」を定期的に関催

(2) 連携協力に関する協定

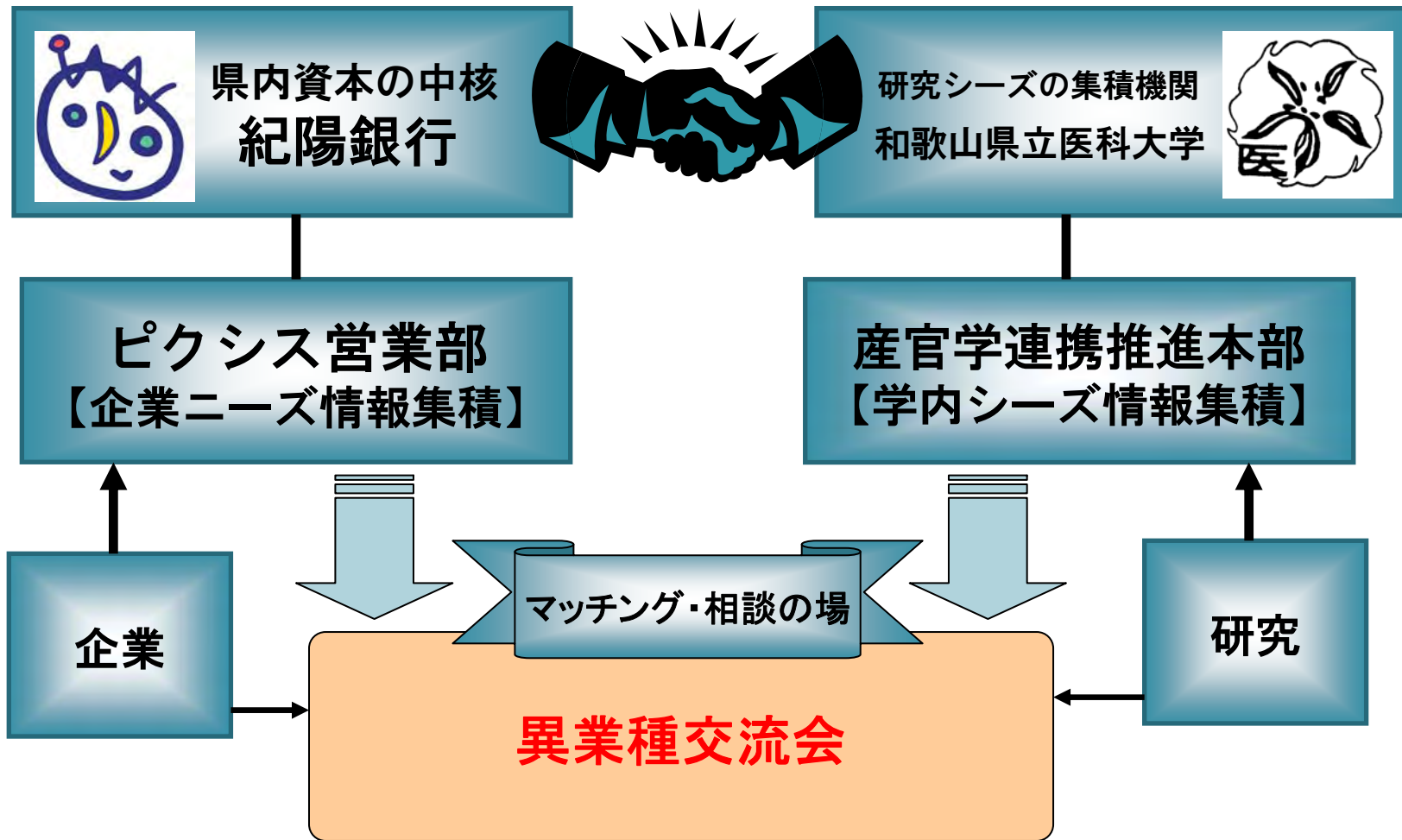
《連携協力の目的》

技術相談や共同研究及び企業に役立つ情報を共有することで、双方の連携を強化し、地域医療及び地域経済の活性化に貢献する。

《連携協力の内容》

1. 地域医療及び健康福祉に関する情報交換
2. 企業等からの技術等の相談対応
3. 企業等からの共同研究等の推進
4. 大学発ベンチャーの創出・推進
5. 連携プロジェクトの推進
6. その他の産官学連携に寄与する事項の推進

「連携協力」メリット



目的：大学と企業との共同研究等で地域経済の活性化

(3) 連携プロジェクトと実績

第1回「異業種交流会in和医大」：H21.3.25

参加企業43社 68名参加

◎開催のねらい

【プレゼンテーション】

・医大のもつ研究成果(シーズ)とこれまでの連携実績を例示することで具体的なイメージをつかんでもらう

【実地見学会】

・実際にある研究機器を見て触れて頂き、技術力の高さを体験してもらう

【意見交換会】

・直接教授と意見交換してもらい双方の距離を縮めてもらうことで、技術相談・共同研究等を前提とした交流を図ってもらう

反省点:交流は図れたが、具体的案件発掘には至らず。企業側のアプローチをおこないやすい場を設ける

和歌山県立医科大学・(株)紀陽銀行連携協定プロジェクト

異業種交流会in和医大

特に健康や美容関連企業や臨床試験等でお悩みの食品・薬品系企業や観光関連企業は必見です!

「異業種交流会in和医大」和歌山県立医科大学の教授が企業の課題解決や新事業への取り組みにつながる特許・研究シーズを紹介し、地元企業のみならず意見交換を通じた交流を図ることで、共同研究等の新たなビジネス展開を支援していく情報交換会です。

日時：平成21年3月25日(水)17:45~20:30(集合17:30)
場所：和歌山県立医科大学附属病院(和歌山市紀三井寺611-1)2階正面入口集合
参加費：10,000円/社(2名まで、3人以日降5千円/人)(当日受付にて頂戴いたします)
申込締切：平成21年3月18日(水)必着
申込方法：裏面に必要事項をご記入の上、FAXにて申込みください。

17:45~18:00 附属病院4F臨床講座	主催者あいさつ(和歌山県立医科大学・紀陽銀行)
18:00~19:00 附属病院4F臨床講座	研究成果・企業連携実績プレゼンテーション ①『観光資源を活用した「健康増進」と「癒し」』 南徳輝志男 学長 ②『新しい着想による肌画像解析装置の開発』 古川 福実 教授 ③『腸タンパク質由来ペプチドのアトピー性皮膚炎緩和効果』 一瀬 雅夫 教授 ④『梅関連食品の消化管系健康増進効果』 有田 幹雄 教授 ⑤『糖質入りみかん飲料が腸管系機能に及ぼす効果』
19:00~19:30 研究棟3F客附講座	統合的美容皮膚探索講座(客附講座)の実地見学会
19:30~20:30 産科厚生棟1F生協食堂	意見交換会(健康志向メニュー立食バイキングでの交流会)

申し込み・問い合わせ先 株式会社紀陽銀行 ビジネス営業部 担当:岡野 山本
〒640-8658 和歌山市本町1-35 TEL: 073-426-7124 FAX:073-431-6381
E-mail: itaru.okano@kiyobank.co.jp



【コンセプト:ビジネスマッチング】

*連携プロジェクトと実績

第2回「異業種交流会inみらい医療推進センター」：H21.10.7

和歌山県立医科大学・(株)紀陽銀行連携プロジェクト

異業種交流会in和医大みらい医療推進センター



特に健康や美容関連企業やスポーツ・福祉機器関連企業は必見です！

和歌山県立医科大学の新たな研究施設「みらい医療推進センター」にて開催！

人工的にあらゆる自然環境を再現でき、スポーツ・福祉分野においてヒト等の動作確認、素材・機器の開発・研究が可能な施設を教授が紹介します。またこの交流会は、企業の課題解決や新事業への取り組みにつながる和医大の特許・研究シーズを紹介するセミナーと個別相談会も併せて開催し、地元企業のみならずと意見交換を通じた交流を図ることで、共同研究等の新たなビジネス展開を支援していく情報交換会です。

日時：平成21年10月7日(水)17:00~20:00(集合:7ホール4階)
 (同時開催:個別相談会(事前申込者の内対応できるものに限る)※後日連絡)
場所：フォルテジマ4・5階 (和歌山市本町2丁目1番地)
参加費：5,000円/名 (当日受付にて頂戴いたします)
申込締切：平成21年9月30日(水)必着
申込方法：裏面に必要事項をご記入の上、**FAX：073-441-0713**
 医大企画課あてに申込みください。

17:00~17:15 フォルテジマ4Fイベントホール	主催者あいさつ	
17:15~17:45 フォルテジマ4Fイベントホール	産学共同研究事例紹介 『共同研究の始まり、おつきあいのきっかけについて』 皮膚科学 古川福美 教授 + 和医大共同研究企業	【同時開催】4F会議室 個別相談会 (事前申込者の内、 教授が対応可能な案件のみ)
17:45~18:45 フォルテジマ5Fセンター	「みらい医療推進センター」施設見学・体験会 (案内：みらい医療推進センター 三井利仁 研究主任) ①動作解析装置 3D解析でｽﾀｰﾌﾞやﾘﾌﾄﾞでの動作研究や効率的な機器の開発が可能 ②人工気候室 地球上の全天候を再現でき、ｽﾀｰﾌﾞ時の身体への影響や汗に強い衣服等の開発が可能	(※対応可能な企業には後日連絡致します)
18:45~20:00 フォルテジマ4Fイベントホール	意見交換会 (立食バイキングでの交流会)	
問い合わせ先		
(株)紀陽銀行 紀陽銀行 ビジネス営業部 担当:岡野・山本 〒640-8656 和歌山市本町1-35 TEL:073-426-7124 FAX:073-431-6361 E-mail:itaru.okano@kiyobank.co.jp		和歌山県立医科大学 企画課 担当:石井・大野 〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1 TEL:073-441-0801 FAX:073-441-0713 E-mail:sankan@wakayama-med.ac.jp

参加企業32社 60名参加

◎開催のねらい

【事例紹介】

・医大が企業と共同研究に至った事例を企業側と共にプレゼン

【施設見学会】

・医大の新たな施設である「みらい医療推進センター」で人工気候室や動作確認装置を体験してもらい、共同研究等のヒントにしてもらう

【意見交換会】

【個別相談会】

教員と個別に気軽に相談できる場を提供

【コンセプト:相談会】

*連携プロジェクトと実績

【産学共同研究事例紹介】



事例:「アトピー性皮膚炎症状を緩和する健康機能食品の開発」

大学教授と連携企業が共同研究から製品開発までの経緯を対話形式で紹介

*連携プロジェクトと実績

【みらい医療推進センター施設見学会】



【人工気候室】

地球上の全天候を再現でき、スポーツ時の身体への影響や汗に強い衣服等の開発が可能



【動作解析装置】

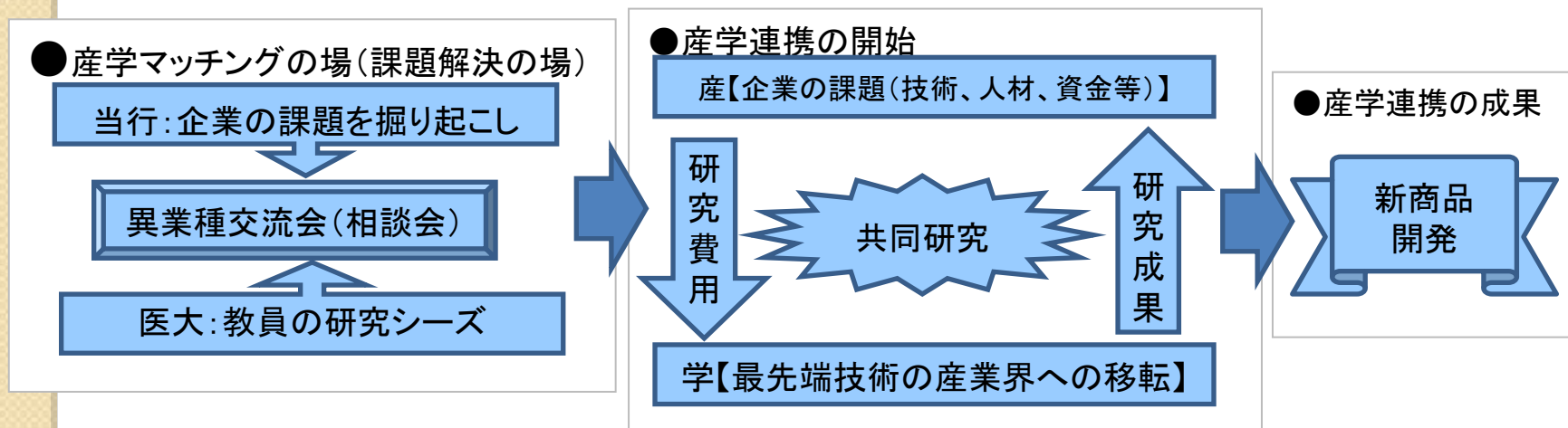
3D解析でスポーツやリハビリでの動作研究や効率的な機器の開発が可能

*連携プロジェクトと実績

【意見交換会&個別相談会】



個別相談会を実施する中で、具体的に4件の相談が持ち込まれ、その内1件については共同研究に向け、大学と協議を行っている



(4) 共同研究連携事案について

(株) マルテン天満屋 「姿勢矯正の新機能下着」 の共同研究開発



共同研究までの流れ

- ①和歌山県への進出決定をきっかけにピクシス営業部と連携しながら、営業店にて様々な提案を行い同社との関係深化を模索(2008年 6月)【2009年4月同社和歌山商品センター操業開始】
- ②当行と和歌山県立医科大学と連携協定を締結(2009年 3月)
- ③同大学との連携プロジェクトで医大との教員らと接点を計れる「異業種交流会in和医大みらい医療推進センター」へ参加{同社の肌着の新商品開発に何か役立つかもしれないとのことで提案}(2009年 10月)
- ④「異業種交流会」で自社での課題等を個別相談会にて相談した事をきっかけに医大の担当が和歌山商品センターを訪れ、「姿勢矯正の新機能下着」の新商品開発に関わる共同研究を行うことを決定(2009年11月)【来秋の新商品販売を目指す】

(5) 今後の展開について

- 継続的な実施による産学官連携のネットワーク形成
- 大学の技術シーズと企業のニーズの仲立ちによる円滑化
- 組織的、戦略的な共同研究の推進



(6) 他の連携事例について

【連携事例①】 和歌山工業高等専門学校

和歌山県内企業合同説明会

県内38社の企業ブースを設け、
高専学生に対し説明会を実施



【連携事例②】 和歌山県

協定内容

- ① 県内企業競争力強化
- ② 産業人材育成
- ③ 観光・まちづくり
- ④ 技術相談・共同研究
- ⑤ 相互の人材交流
- ⑥ その他(情報交換)

成長企業育成支援事業
専門家サポーターチーム派遣

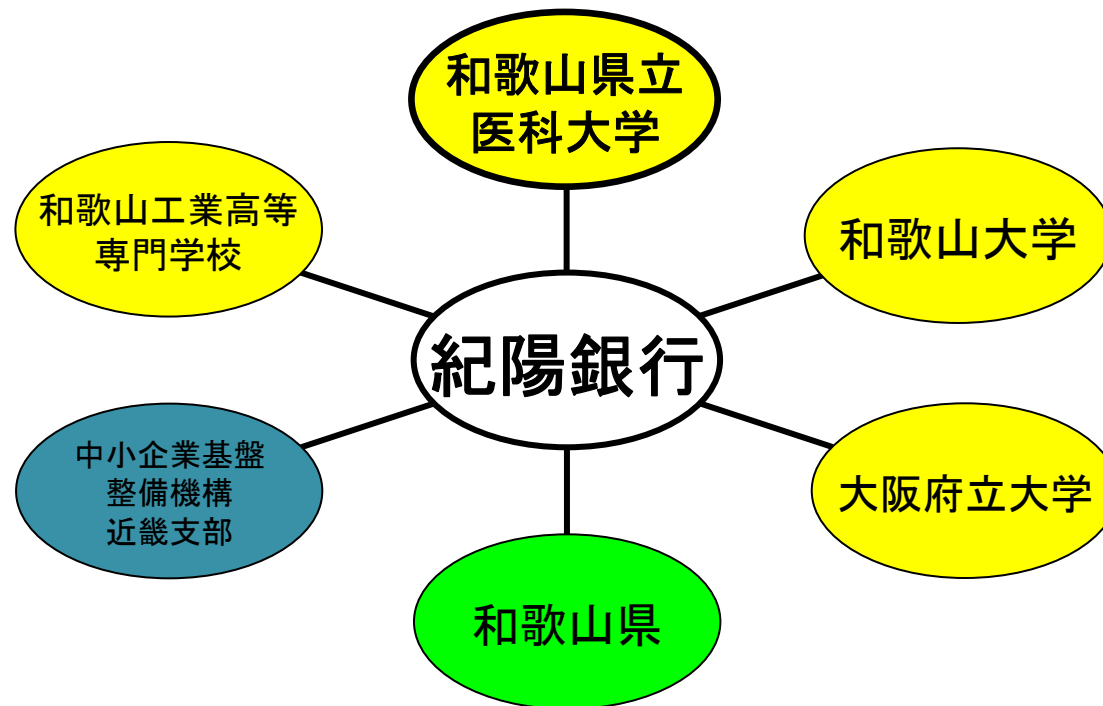
中核人材導入支援事業
経営中核人材のマッチング支援

その他
商談会の相互協力や企業情報の共有



* 当行は企業の掘り起こし及び事業の評価委員会等に参画

(7) 紀陽銀行と地域機関との連携と目的



【目的】

当行のもつ地域企業との情報ネットワークを大学や地方公共団体等との連携を図り、地域活力の好循環の形成を促進する。

ご静聴ありがとうございました



<http://www.kiyobank.co.jp/>

お気軽にご相談ください。様々な課題に取り組み、と一緒に成長したいと考えております。